

Green

札幌野外演奏会 ホクレングリーンコンサート 2010

Concert

札幌の音楽監督である尾高 忠明がキタオンに初登場!!

入場無料

午後1:00より
先着1500名様に
お赤飯用**あずき**
(50g)
プレゼント

2010年 **8月21日(土)**

開場 **午後1:00** 開演 **午後2:00**

いわみざわ公園野外音楽堂 **キタオン**

※同日11:30より公開リハーサルを行います。(入場無料)
※午後3:30頃終演予定。

雨天の場合

- ・会場：まなみーる岩見沢市民会館大ホールへ変更いたします。
- ・8/21(土)午前9:00に天候判断をいたします。
- ・雨天時であっても開場及び開演時間に変わりはございません。
- ・公開リハーサルはございませんので予めご了承ください。
- ・まなみーる大ホールはお座席に限りがございます。
- ※入場規制させていただく場合がございますので予めご了承ください。

お問い合わせ / ☎ (0126) 32-1000

第1部

モーツァルト / 歌劇「後宮からの誘拐」序曲K.384
 ビゼー / 歌劇「カルメン」から
 マスカーニ / 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
 ヴェルディ / 椿姫 第1幕 前奏曲
 ワグナー / 歌劇「タンホイザー」序曲

第2部

コープランド / 市民のためのファンファーレ
 ロジャース / 「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー
 ルロイ・アンダーソン / ブルータンゴ
 トランペット吹きの子守唄
 ファドル・ファドル
 J.ウィリアムズ / スターウォーズ(メインタイトル)

指揮とお話：尾高 忠明
演奏：札幌交響楽団



Conductor
尾高 忠明

1947年鎌倉生まれ。桐朋学園大学で齊藤秀雄氏に師事。71年にNHK交響楽団を指揮してデビュー。72年オーストリア政府から奨学金を得てウィーン国立アカデミーに留学、ハンズ・スワロフスキーに師事、さらにオペラをシュバンナーゲルに学ぶ。
 札幌交響楽団では81～86年正指揮者を、98年からミュージック・アドヴァイザー / 常任指揮者を務め、04年から音楽監督の任にある。現在、他にNHK交響楽団正指揮者、BBCウェールズ交響楽団(現BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団)桂冠指揮者、メルボルン交響楽団首席客演指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井シンフォニエッタ東京桂冠名誉指揮者を務め、08年9月から新国立劇場オペラ部門芸術参与、09年9月からは芸術監督代行の任にある。東京藝術大学音楽学部指揮科主任教授、相愛大学音楽学部客員教授。

さわやかな緑、心地いい音楽。
みんなで出かけよう、緑の森のコンサート。



曲解説

第1部

●モーツァルト(1756~1791) / 歌劇「後宮からの誘拐」序曲 K.384

当時のウィーンでは歌劇と言えばイタリアが常識の時代にあってドイツ語によるジングシュピール(歌芝居)としてこの「後宮からの誘拐」は作られました。この時期、故郷ザルツブルクを離れ独立した音楽家としてウィーンで生計を立てていたモーツァルトはこのオペラの上演後1782年8月に結婚をし、まさに人生での最高潮の時期でもあり、また青年モーツァルトのみずみずしい感性に満ちあふれた作品となっています。

●ビゼー(1838~1875) / 歌劇「カルメン」第1組曲より

“前奏曲” “アラゴネース” “間奏曲” “アルカラの竜騎兵” “闘牛士の歌”

フランスの作曲家ジョルジュ・ビゼーは両親とも音楽家という恵まれた環境に生まれ、わずか10歳でパリ音楽院に入学した天才児でした。「カルメン」はビゼーの代表作でもあり、フランス・オペラの最高傑作でもあります。しかし、パリ・オペラ座での初演は失敗に終わりました。劇的効果に富み、かつスペイン情緒豊かなビゼーの音楽が認められたのは、彼が初演3ヶ月後に失意のうちに36歳の若さでこの世を去ったしばらく後のことです。その後、2つの組曲版に選曲・編曲され、全世界で愛されるようになりました。

●マスカーニ(1863~1945) / 歌劇「カヴァレリア=ルスティカーナ」間奏曲

この1幕物オペラは、ヴェリズモ(現実主義)オペラの最初の代表作となったマスカーニの名作です。シチリア島を舞台に男女の愛憎劇を描いております。この間奏曲は有名で単独でよく演奏されます。美しいメロディーを叙情豊かに歌い上げています。

●ヴェルディ(1813~1901) / 歌劇「椿姫」第1幕 前奏曲

イタリアを代表するロッシーニ、プッチーニと並び称されるヴェルディは19世紀最大の作曲家です。代表的な作品だけでも「アイダ」、「トロヴァトーレ」、「運命の力」と数え上げたらきりがありませんが、その中でもこの「椿姫」は世界中の人々に愛されつづけられている名作です。華やかなパリの舞台に、恋の喜びと悲しみに身を託し、病にたおれるヴィオレッタの悲劇を、流麗で美しい旋律に乗せ叙情的に描いています。

●ワーグナー(1813~1883) / 歌劇「タンホイザー」序曲

ワーグナーの歌劇を代表する作品で、完全な題名は、「タンホイザーおよびワルトブルクの歌合戦」というもので、ドイツの中世、騎士道の物語です。

第2部

●コーブランド(1900~1990) / 「市民のためのファンファーレ」

アーロン・コーブランドは、20世紀のアメリカを代表する作曲家です。

1942年、コーブランドは、シンシナティ交響楽団から愛国的なファンファーレの作曲を依頼されました。第二次大戦中ということもあり、当初は「兵士のためのファンファーレ」という曲名が提案されましたが、作曲家自身により、一般市民を称える曲として現在のように名づけられました。厳かで力強いこの曲は、金管楽器と打楽器のみで演奏されます。

1984年のロサンゼルスオリンピックの開会式で演奏されたほか、1970年代のロックバンドの作品でも取り上げられており、クラシックファンだけでなく、ロックファンにもよく知られた曲です。

●ロジャース(1902~1979) / 映画「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー

アメリカのミュージカルを代表する名コンビ、リチャード・ロジャースとオスカー・ハーマンスタインによる映画です。第2次戦争を舞台に家族の愛を描いた不朽の名作です。映画の中に出てくる「ドレミの歌」や「エーデルワイス」は今でも広く愛されている曲です。

●アンダーソン(1908~1975)

／「ブルータンゴ」・「トランペット吹きの子守唄」・「フィドル・ファドル」

ルロイ・アンダーソンは現代アメリカを代表する作曲家で、ライトなクラシックであり、大衆的なポップスでもある名曲を数多く残しています。

「ブルータンゴ」は、1951年の作品で、自身の指揮した演奏を収めたレコードは、ヒットチャートに38週ランクインし続けて、5週の間1位の座を獲得しました。

「トランペット吹きの子守唄」は、本来華々しく、豪快な場面で活躍することの多いトランペットが、優しい子守唄を演奏するというアイデアとユーモアで作曲されました。

「フィドル・ファドル」は1947年に作曲されたものです。「フィドル」とは、ヴァイオリンの一種。一方「ファドル」とは、「ぶらぶら過ごす、ふざける、くだらないこと」等の意味があります。テンポのとても早い曲で、徒競走のBGMに合う曲なので運動会でよく使われます。

●ジョン・ウィリアムズ(1932~) / スターウォーズ(メインタイトル)

壮大なファンファーレで始まるこの曲は、1977年に製作された映画『スター・ウォーズ』のオープニングテーマです。第50回アカデミー賞の作曲賞も受賞、そのヒットは社会現象にまで発展しました。

札幌交響楽団

SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

1961年発足。2011年に創立50年を迎える札幌交響楽団は、北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札幌」の愛称で広く親しまれている。現在、音楽監督は尾高忠明、正指揮者は高関健、首席客演指揮者はラドミル・エリシュカが務め、最高の音響を誇る札幌コンサートホール Kitaraを本拠に、透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、雄大な北海道にふさわしい魅力を放つオー

ケストラとしてますます評価を高めている。09年10月に公益財団法人化され、北海道を基盤に世界へ発信するオーケストラとして、意欲的な演奏活動を道内外で展開。年間120回をこえる演奏会のほか、これまでにアメリカ、ドイツ、東南アジア、英国、韓国等でツアーも行い絶賛を博す。Kitaraでのレコーディングにも積極的に取り組み、2007年以降毎年CDを発売し、注目を集めている。<http://www.sso.or.jp>